

第109回国立大学法人筑波技術大学経営協議会議事録

I 日 時 令和7年1月30日（木）14時00分～15時40分

II 場 所 大会議室、オンライン（Zoom）

III 出席者

- ・学外委員：石井靖乃、石橋大吾、齋藤佐和、竹下義樹、中村信一、森戸久雄の各委員
- ・学内委員：石原保志（議長）、岩間光彦、四日市章、長島一道、谷貴幸、香田泰子、加藤伸子、加藤一夫、三好茂樹の各委員

欠席者

- ・学外委員：木村利男、小林武弘、村松隆、安田咲登子の各委員
- ・学内委員：なし

陪席者

- ・鈴木瑞哉監事、鈴木浩監事、嶋村幸仁技術科学研究科長

IV 議 事

議事に先立ち、議長から新任の委員について紹介があった。

1 前回議事録の確認について

議長から、資料1-1～1-2に基づき、第107回及び第108回の議事録について説明があり、原案どおり確認された。

2 審議事項

（1）中期計画の変更について

事務局から、資料2-1～2-2に基づき、中期計画の変更について説明があり、審議の結果、承認された。

（2）職員給与規程及び役員報酬規程の一部改正について

事務局から、資料3に基づき、職員給与規程及び役員報酬規程の一部改正について説明があり、審議の結果、承認された。

なお、主な意見は以下のとおり。

（学外委員）給与法の改正等を踏まえた対応ではあるが、職員給与に比べ役員報酬の引上げは、その時点での財政状況を踏まえ、より慎重な判断を経て行うことも考えられるのではないかと。

（学内委員）次回以降、完全実施が困難となる場合にはご意見の趣旨を踏まえて検討したい。

（学外委員）令和7年度概算要求において給与法の改正等を踏まえた給与等の引上げ分の予算を計上したのか。

(学内委員) 国立大学法人においては当該予算を要求する枠組みがなく、計上はしていない。

(学外委員) 他の国立大学法人の対応状況について把握していれば説明してほしい。

(学内委員) 先日の国立大学協会の総会における報告内容を踏まえると、遡及分も含めた完全実施か否かは不明であるが、各法人において対応できたとのことである。

(3) 令和6年度筑波技術大学予算の補正について

事務局から、資料4-1～4-2に基づき、令和6年度筑波技術大学予算の補正について説明があり、審議の結果、承認された。

(4) その他

特になし。

3 報告事項

(1) 横断的・縦断的な取組の状況について

議長、谷委員及び香田委員から、資料5-1～5-2に基づき、横断的・縦断的な取組の状況について報告があり、種々意見交換があった。

なお、主な意見は以下のとおり。

(学外委員) 寄附講座の開設に結び付いたような取組はあるのか。

(学内委員) 受託研究として予算を得られた事例はあるが、寄附講座の開設に至るような事例はない。

(学外委員) 視覚障害学生支援に関する大学間のネットワークはあるのか、ないのであれば筑波技術大学が中心となって設置してほしい。

(学内委員) PEPNet-Japanのようなネットワークではないが、教育関係共同利用拠点の障害者高等教育拠点として、本学の障害者高等教育研究支援センターが他大学等からの障害学生支援に関する相談対応や支援者向けの研修、メーリングリストでの情報発信などを行っている。

(学外委員) PEPNet-Japanの20年にわたる取組も含め、障害学生支援に関する成果は今後どのように次の支援に結び付けていくのか。

(学内委員) PEPNet-Japanや障害者高等教育拠点での取組を通じて成果やノウハウを学外にも発信していくことで次の支援に結び付けたい。また、障害者高等教育研究支援センター運営協議会での報告資料に成果がまとめられているため、経営協議会委員にも今後共有したい。

(2) 令和6年度統合報告書の作成について

事務局から、資料6に基づき、令和6年度統合報告書の作成について報告があった。

(3) 令和5年度決算における剰余金の繰越承認について

事務局から、資料7-1～7-2に基づき、令和5年度決算における剰余金の繰越承認について報告があった。

(4) 令和7年度入学者選抜実施状況(学部・大学院)について

事務局から、資料８－１～８－３に基づき、令和７年度入学者選抜実施状況（学部・大学院）について報告があり、種々意見交換があった。

なお、主な意見は以下のとおり。

（学外委員）共生社会創成学部のポリシーなどに対する志願者の理解度はどの程度であると受け止めているか。今年度は周知期間も十分でなかったため、今後も引き続き周知活動に適切に取り組んでほしい。

（学内委員）面接試験での状況を踏まえると、志願者はポリシーなどを強く意識して出願していると受け止めている。

（学外委員）理学療法学専攻の学生確保について今後どのような対応を考えているか。

（学内委員）スポーツを１つのキーワードに、コースの新設も含めて協議を行っており、鍼灸学専攻とともに保健学科全体としても検討していきたい。

（学外委員）共生社会創成学部において今後どのような学生が輩出され社会でリーダーシップを発揮していくのかがイメージできるようなイベントの来年度の実施を検討してほしい。

（学内委員）今年度は学生募集等に注力しており実施できなかったが、来年度の実施に向けて検討していきたい。

（学外委員）入学試験はサテライト会場を設けて実施しているのか。入学試験の実施方法も定員割れの要因となっていないか。

（学内委員）産業技術学部ではサテライト会場を設けており、保健科学部では過去に設けていたものの希望者がいない状況が続き現在は設けていない。

（５）令和７年度経営協議会学外委員について

議長から、令和７年度経営協議会学外委員について、各委員に対して引き続き委嘱したい旨の依頼があり、後日改めて事務局から連絡することが確認された。

（６）その他

特になし。

以 上